

R-SUDを さらに知りたい方へ

単回医療機器再製造推進協議会



YouTube コンセプトムービー

R-SUDについて、動画で
ご紹介しています。



YouTube 実例紹介

R-SUDの実例を動画で
紹介しています。



単回医療機器再製造推進協議会(JRSA)について

1. | 設立趣旨

- 「医療安全の確保」、「医療資源の有効活用」、「持続可能な医療の提供」という国の施策に賛同し、業務遂行のための活動を行います

2. | 活動目的

- 単回使用医療機器の再製造（R-SUD）に関する行政の窓口を担います
- 医療従事者、関係する学会や業界団体に R-SUD の正しい啓発、普及推進に努めます
- R-SUD の普及を通じて医療資源の有効活用、環境保全、医療費削減に貢献します

3. | R-SUD 普及のための活動

- 厚生労働省、経済産業省、環境省などの関係省庁、国内外の関連団体との連絡や意見調整
- 技術的な課題の抽出と検討、関係省庁への提言
- 海外状況の情報収集と提供
- 医療機器メーカーやディーラーに対する勉強会の開催
- 医療従事者に向けての適切な情報提供

JRSAへの入会をご希望の方は、JRSAのwebサイト内にある「入会のご案内」をご参照の上、資料をご請求ください。

<https://japanrsud.jp/guidance/>



■ お問い合わせ・連絡先

 **単回医療機器再製造推進協議会**（事務局）
<https://japanrsud.jp/>



〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 浜町センタービル
一般財団法人 松本記念財団
E-mail : info@japanrsud.jp

Ver. 5 1000

再製造によって 持続可能な医療を実現する

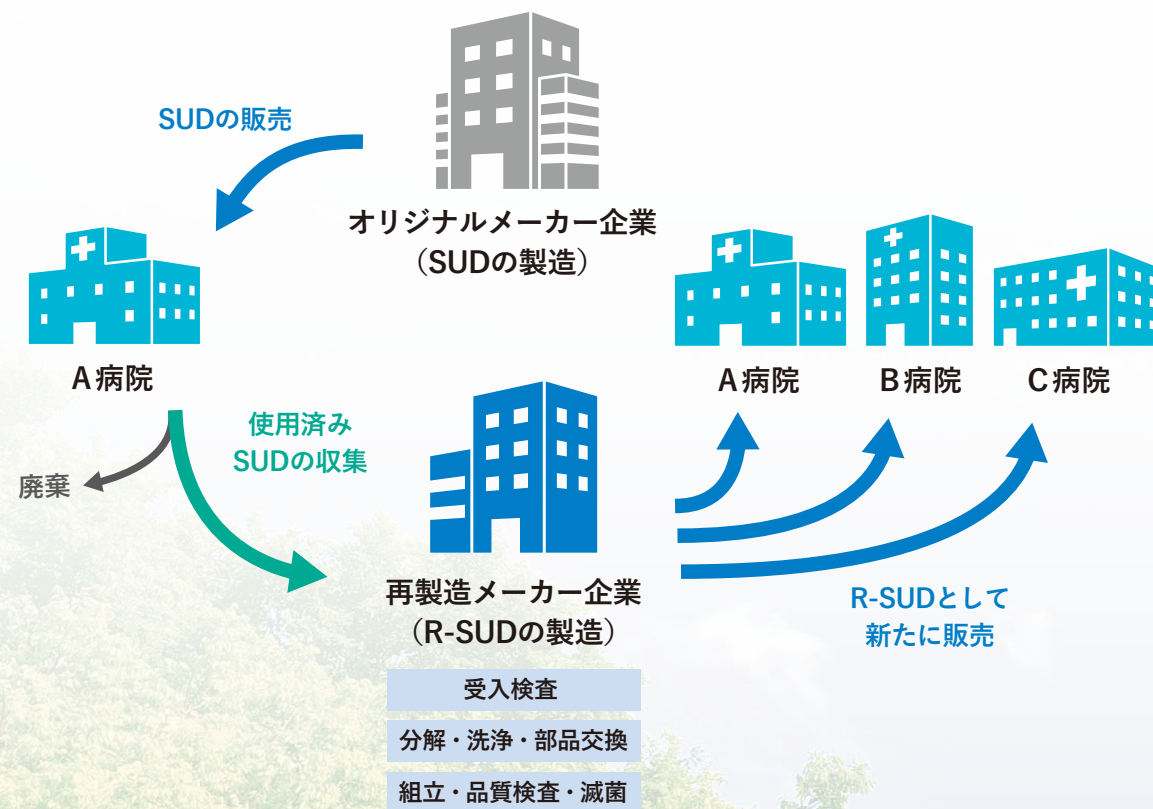
単回使用医療機器再製造の手引き



R-SUD導入の意義

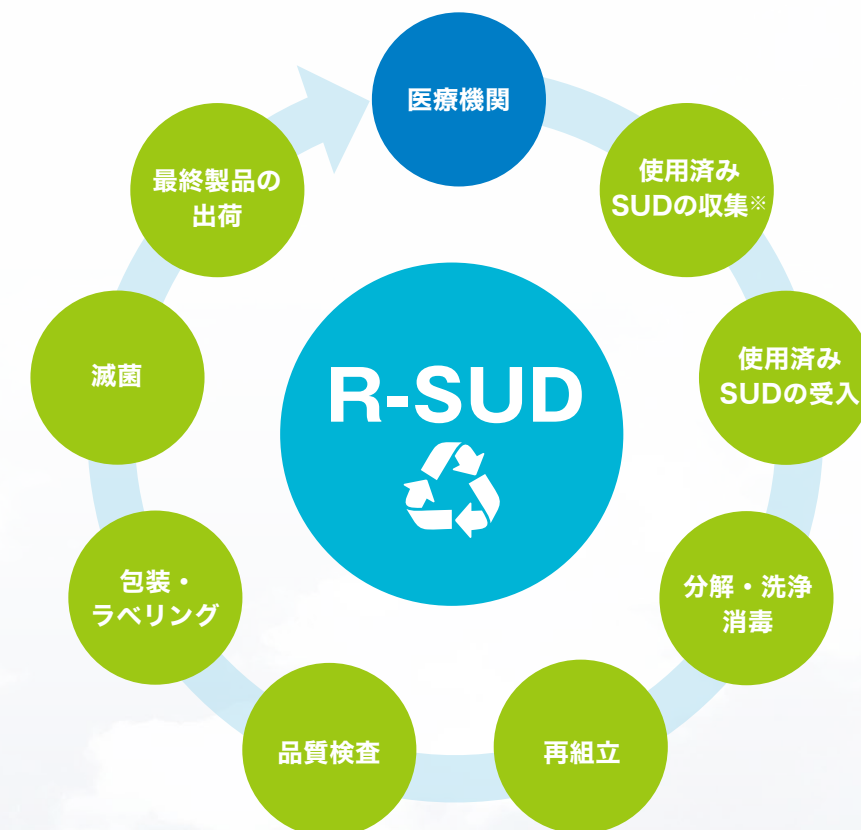
使用済み単回使用医療機器（Single Use Device：以下SUD）を医療機器製造販売業者が適切に収集して処理を行い、再び使用できるようにしたものを「再製造単回使用医療機器（Remanufactured Single-use Medical Device：以下R-SUD）」といいます。

R-SUDの製造工場においては、厳正な製造管理や品質チェックが行われており、医療の質と安全面に十分な配慮がなされています。



再製造プロセス

収集された使用済みのSUDは、厳格な管理下において、「分解」、「洗浄」、「部品交換」、「再組立て」、「品質機能検査」、「包装・ラベリング」、「滅菌」などが行われ、R-SUDとして再製造され、医療機関に向けて出荷されます。R-SUDには一つ一つシリアル番号が付与され、再生部品、製造、流通のトレーサビリティが明確にわかるようになっています。



※「脳、脊髄、硬膜、脳神経節、脊髄神経節、網膜又は視神経に接触したもの」、「感染症法に定める感染症（一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症若しくは新感染症の患者）の治療、検査等に使用されたもの」、「最大再製造回数の再製造がなされたもの」は、再製造に用いることはできない。

R-SUD導入による効用

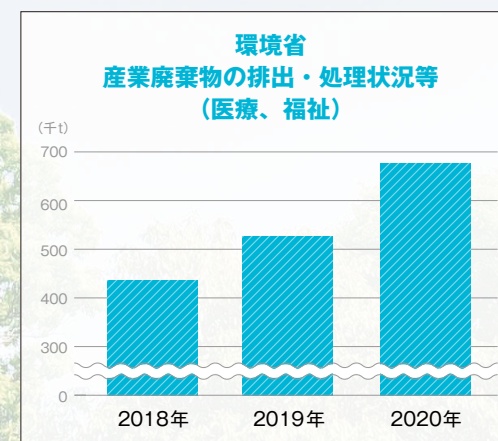
医療の 安全性を担保

安全面に配慮したR-SUDを普及させ、コストを抑えた質の高い医療の実現に貢献



環境の保全

R-SUDの普及によって、年間70万トン※も排出される医療・福祉廃棄物の削減に貢献

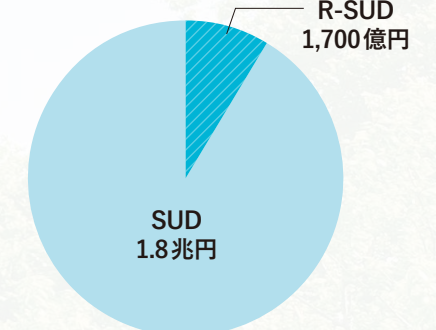


※環境省「産業廃棄物の排出・処理状況等（令和2年度実績）」より

医療経済への貢献

国内単回使用医療機器（1.8兆円）のなかで、再製造に向いている製品は約1,700億円であり、再製造可能製品の内50%を再生品とした時の想定で、価格はオリジナル品の60%となることから、約510億円の市場規模となる（340億円削減）

SUDにおけるR-SUDの市場専有率



※令和5年度 厚生労働省 再製造SUD基準策定等事業「再製造SUD推進検討委員会報告書p.6」より